

特集 体験！ 高齢者の介護

「介護すまいる館」で学ぶ福祉・介護用品と高齢者疑似体験

埼玉県「介護すまいる館」で

福祉・介護用品を見て、
触れて動かしながら学ぶ

要介護者に合った適切な用品選びに
不可欠な知識を身につける

約1000点に及ぶ
福祉・介護用品を見学できる

去る2014年3月13日、弊誌編集部は、ファイナンシャル・プランナーの河原正子さん、飯田道子さん、高野みな子さん、大泉稔さんと同行し、埼玉県社会福祉協議会、福祉・介護用品の総合展示館「介護すまいる館」を訪問した。ここ「介護すまいる館」では、公的介護保険給付の対象となる福祉用品をはじめ、高齢者の自立支援に役立つ福祉用具を常時約1000点、展示しており、誰でも見学・体験・購入ができる。グループや各種団体の研修や学習のための団体見学も受け付けており、車椅子や介護ベッドなどの福祉用具の体験のほか、ユニバーサルデザインの学習や相談員による福祉用具の専門的な説明を聞くことができる。一口に福祉・介護用品といっても数多くの種類がある。「介護すまいる館」では、ユニバーサルデ

ザイン、食事関連用具、移動関連用具、衣類・靴、入浴関連用具、介護用ベッド・関連用品、排泄関連用具、生活関連用具などのほか、福祉・介護関連書籍の展示・販売等を行っている。

また、「介護すまいる館」と同じビル内では、埼玉県ボランティア・市民活動センターで、高齢者疑似体験セットの貸出しを行っている。高齢者疑似体験とは、身体

に重りやサポーターを装着することで「80歳の高齢者の身体状況」を体験できるものだ。今回の訪問では、「高齢者疑似体験セット」の貸出しを受け、同行したFPとともに、実際に高齢者疑似体験を行った。

要介護者の悩みを解決する用品選びが可能

近年、FP相談においても、介

護に関するアドバイスを求められるケースが増えている。また、FP自身が、親の介護をしているといったケースもあるだろう。介護は、要介護者の状況により、適切なケアの方法やそれをサポートするための用品選びは千差万別だ。自身が取り組む介護にとって、目の前の要介護者のために、どのような介護用品を選べばよいか、介護者にとっては悩み事の一つで

「父が退院してくるのだが、在宅で介護するのにどのようなものを用意したらよいかわからなかった。いろいろな相談ができてよかった。リウマチで足の指が変形しており、市販の靴ではつらかった。マジックテープで脱ぎ履きがしやすい靴が見つかってよかった。など、利用者からの声が集まっている。

はじめて介護を学ぶ人も、これから介護を始める人も、実際に見て、触れて、動かしながら学べる体験施設の見学をぜひ、お勧めしたい。



埼玉県「介護すまいる館」のご案内
住所：〒330-8529 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ1階
電話番号：048-822-1195
開館時間：火曜日～日曜日 9:00～17:00
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、第1日曜日、年末年始

用語解説
埼玉県社会福祉協議会
埼玉県内の公私福祉関係者（市町村社協、民生委員・児童委員、保護司、社会福祉施設、関係機関・団体が会員）の参画のもと、地域福祉の推進を目的として、昭和26年1月に設立された県域の民間団体。地域福祉推進の中核組織としてさまざまな支援事業・支援活動、啓発事業等を展開している。